

現代の「ニワ」を育てる

— 住み続けるまちの居場所づくり —

Key Concept

都市居住の「ニワ」づくり

本提案では都市居住における外部空間である「ニワ」を、建物はもとより人と人をつなぐ役目となるよう「ニワ」の役割を再考し、位置づけました。

まちの余白の空間に、新たな息吹と共に地域財産として育てて行く場を創る

余白な空間は「ニワ」として生きる

みちの「ニワ」

車道・歩道空間、散歩道、街並み、景観、オープンスペースの形成

まちの「ニワ」

地域交流、観光財産、文化・福祉、学び、環境、伝統継承を形成
地域のづくり

生活の「ニワ」

住空間・住環境、ライフスタイル・サイクル・ステージの時間を形成

住み続けるまち・ひと・文化を継承

次世代に受け継がれる「ニワ」づくり始動

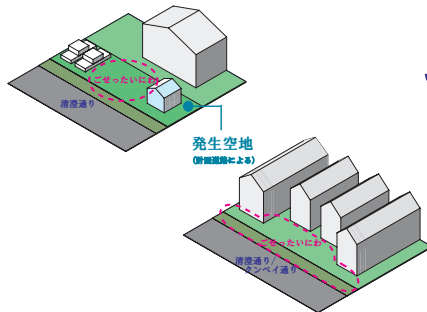
本提案では計画道路によって分断された街や人の関係性、多く点在する駐車場等の空地による街の過疎化に対して、古来日本の建築物が外部空間と分かちがたく結びついてきた「ニワ」文化の概念をもとに、5つの視点から検証「時と人がまちをつむげる」ような「現代のニワ」のあり方を再考することで、快適な都市居住を目指し、地域で築かれてきた人と建築物の両財産が共に絆を育み、住み続けたいくなる生活提案と空間づくりを創造します。

＜ニワを創る5つのProposal＞

Part-1	計画道路にともなう新道・旧道整備と街づくりの活性化 1-01：新道・旧道に街づくりの顔「ごせったいにわ」をつくる 1-02：計画道路発生空地や既存庭から地域参加の場と景観を育てる
Part-2	駐車場等未利用空地活用による住処・交流の場づくり 2-01：地域に住み続け絆を絶やさないよう計画道路の代替住戸をつくる 2-02：地域交流の基点をつくる
Part-3	狭い道路の活性化を推進し散歩路としての細部を形成 3-01：未整備道路と花や緑、石畳による散歩路づくり 3-02：散歩路したくなる街づくり
Part-4	地域のストックを生かした景観・文化・交流づくり 4-01：宿場文化と観光資源と景観づくり 4-02：文化継承と住民の学びにわづくり
Part-5	地域活性への新規導入事業と都市居住の交流環境を提案 5-01：地域リーダーを育成・支援を行う 5-02：mate 活動による新規交流事業等を導入、推進する

◆みちの「ニワ」を育てる

計画道路整備にともない旧道や狭い道路も含めた道空間を創造し、道の構成要素である床・壁面等も含めた「みちのニワ」づくりは、街の景観づくりと同時に道と人が、ネットワークできる街づくりの核になります。



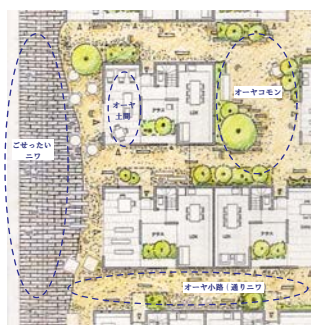
◆まちの「ニワ」を育てる

宿場文化のおもてなし精神、思いやりを大切に、空地や既存空家等も含め再生同時にソフト支援も含め、人と人・地域・歴史・風土がいろいろにツナガリ、住民・来訪者の出会いを育む交流拠点となります。



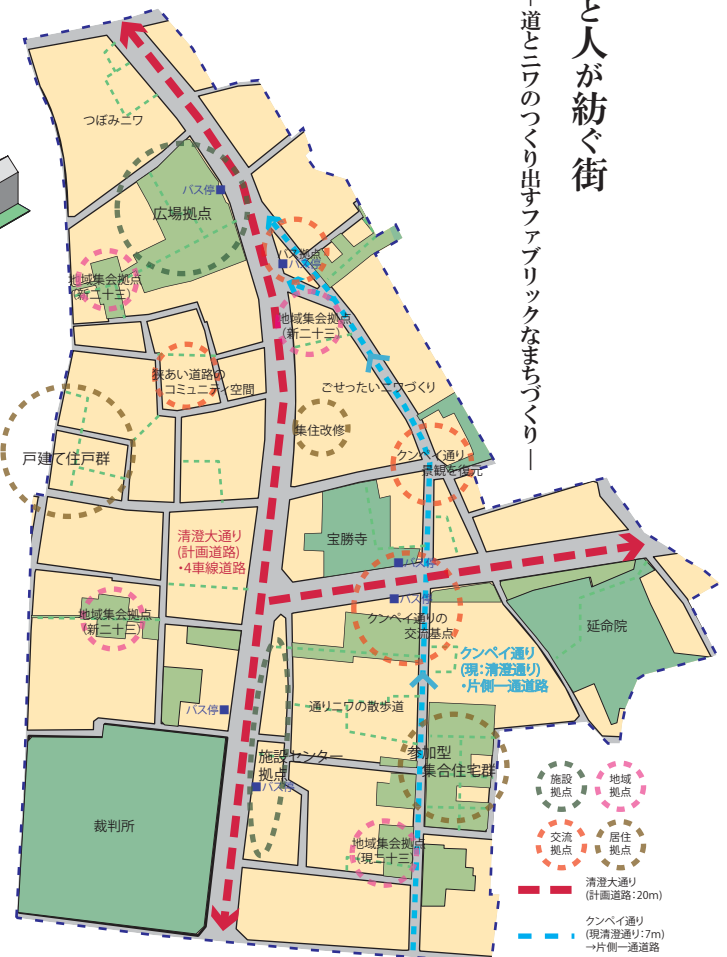
◆生活の「ニワ」を育てる

「ごせったいニワ・ニワのつぼみ」等空地利用の「生活のニワ」づくりは、軽微な工夫・増改築・新築と様々な可能な地域参加型住宅づくり、住処が街の財産づくりとの意識改革で、住み続けたいくなる環境を育みます。



時と人が紡ぐ街

— 道とニワのつくり出すファブリックなまちづくり —



宇都宮市「小幡・清澄地区」